



京都

労福協

No.56
2017.7

一人は万人のために、万人は一人のために

TOPIC
1

京都労福協 第61回 定期総会開催

労働者の福祉要求の実現をつうじて、労働者、家族の生活の向上と安定をはかり、真に、平和で豊かなくらしを保障する社会を創る。



5月25日、ラポール京都2F大ホールに於いて、「連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう」をスローガンに、第61回定期総会を開催致しました。

総会は廣岡副会長の開会挨拶で始まり、議長に連合京都の土淵副事務局長を選出、来賓には京都府より、小山哲史、商工労働観光部雇用政策監、京都市より、中西朋子、文化市民局共同参画社会推進部部長にご臨席いただき、知事・市長の祝辞を頂きました。

主催者を代表して、橋元信一会長より、「第61回京都労福協定期総会にご参加頂いた、代議員・傍聴の皆様、また、ご多用の中、本総会にご臨席頂きました、京都府・京都市の御代表の皆様」に京都労福協を代表し心から感謝申し上げます。

私たち労福協は、この一年間様々な活動を展開してきた。東日本大震災の被災地・福島県への支援活動は、2年目を迎えたが、まだまだ復興には至っていないと思う。昨年は被災者で、避難生活を实际にしていた方からお話を伺うことができたが、震災当時から子どもが病院で診察を受けられなかった



り、現在でも避難先の住民から住宅・土地の購入をめぐり差別を受けている実態がある。震災以前にはなかった多くの新たな問題が発生している。今年度も福島県への支援活動を実施するが、是非、多くの方々に参加して頂き、現地を見て、心で感じ、私たちはこれからどうあるべきかを考えて頂きたい。

労福協に結集する労働組合・事業団体、更には行政も含め力を合わせて社会の課題解決に向け取り組みを進めていかなければならない。

京都労福協は、福島県への支援に止まらず、多くの活動を展開しているが、労福協運動があまり知られることが無く、メジャーになっていないのが実態である。

今後も、社会状況に応じた活動・地区労福協も含め地域社会に根ざした活動をさらに展開する必要がある。

また、ここにおられる労働組合の皆さんには、今春闘において団体交渉等を含め、粘り強く闘っていただき、全体的には一定の成果は得られたと思っている。

しかし、長期間賃上げがされなかった時期があり、ここ数年賃上げされたとしてもそれは景気回復にはなかなか結びつかず、個人消費が伸びない状況にある。個人消費を伸ばすためには、やはり春闘での賃上げが重要である。更には、非正規労働者が多い事もその大きな要因で、非正規労働者を正規の労働者に変え、労組の枠内に取り入れ

ることが労働組合に求められる大きな役割である。

これから国の方では、労働力人口の減少や長時間労働・残業などの悪しき慣習が生産性の低下をまねいているとし、働き方改革の議論が進められようとしているが、これは一億総活躍社会の実現に向けた最大のチャレンジであり、日本の企業や暮らし方の文化を変えるものである。企業中心の改革ではなく、女性も男性も、高齢者も若者も、障害や難病がある人も、一人ひとりのニーズにあった労働者中心の改革でなければならない。

生産性向上や経済成長だけを優先すると、労働者の生活の質は更に悪化すると考えている。

労福協のライフサポートセンター事業では、このような労働者・生活者から多くの分野にわたっての相談を受け付け、解決に向け努力を重ねているが、その必要性は増している。今後も労福協運動をさらに発展させて行きたいと思っておりますので、引き続きの協力をお願いしたい」と挨拶がなされました。

引き続き、議案審議に入り、2016年度活動・会計・会計監査報告を満場一致で承認の後、2017年度活動方針・予算案・役員補充・功労者表彰・スローガン採択が提案決定され、第61回定期総会を終了しました。

役員体制は以下の通りです。

役員

会長 橋元 信一	事務局長 村岡 和也	理事 河村 勝治	理事 高取 淳	会計監査 上尾 寅彦
副会長 廣岡 和晃	理事 岸本 満	理事 池田 豊	理事 手島 政和	会計監査 山縣 哲也
副会長 池田 和弘	理事 庄野 英夫	理事 佐古田 博	理事 漕江 和郎	会計監査 古谷 茂
副会長 笠井 清史	理事 原 敏之	理事 松本 隆浩		
副会長 山川 修司	理事 西 央人	理事 安井由美子		

ZENROSAI NEWS



全労済の
「生活保障設計運動」を、
あなたとご家族の
ぴったりな保障づくりに
お役立てください。



おかげさまで60周年

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会

おかえり。ATM引出し・入金手数料 全額還元

全国の銀行・ゆうちょ銀行・コンビニなどの他行ATMを使ったときにかかる手数料を、即時に全額お返しします。(実質無料!) いつでも、何回使っても、全額還元されるサービス「おかえり。」

近畿ろうきんなら、他行で引出しても0円。

引出し手数料還元の対象となるATM ●提携先金融機関(都銀・信託銀・地銀・第二地銀・信金・信組・JA)
●ゆうちょ銀行 ●セブン銀行

●全国のろうきん ●イオン銀行 ●コンビニは手数料がかりません。

※ お振込手数料については還元対象になりません。

★ ローンカードのご利用でも手数料は実質無料

対象口座 ●普通預金口座(無利息型含む) ●貯蓄預金口座
●カードローン口座(マイプラン・笑くぼ・生き活きカード・ろうきん教育ローン(カード型)・スマートチョイス)



キャッシュカードによるご入金でも、
ローンカードによるご返済でも、
手数料は実質無料!!

ご入金・ご返済は、全国のろうきんはもちろ
ろん、以下の金融機関でご利用いただけ
ます。

●ゆうちょ銀行 ●セブン銀行 ●イオン銀行
●第二地銀 ●信金 ●信組 ●ロソソ ●イーネット
※全国のろうきん・ゆうちょ銀行・セブン銀行・
イオン銀行・ロソソ・イーネットは手数料不要のため、
手数料還元はありません。

※第二地銀・信金・信組では、一部お取扱いができない金融機関・店舗がございます。
入金可能なATMには、「入金ネット」の表示がされています。

すべての勤労者の笑顔のために

近畿ろうきん

京都地区統括本部 tel. 075-801-7317

お電話でのお問い合わせは、平日9:00~17:00でお願いします。

「513-2017-007」